

# 京機会ニュース



京機会事務局

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 b棟4階(b4S13)

TELFAX:075-383-3713 E-mail:jimukyoku@keikikai.jp

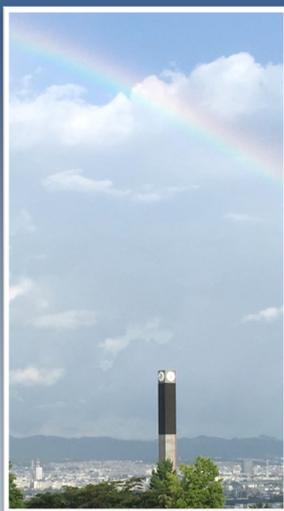
URL:<https://keikikai.jp/>

## No.45

2023 October



### 巻頭 会長挨拶



#### CONTENTS

- 02| 会長挨拶
- 03| 2024年度京機会総会のご案内
- 04| 2023年度京機会総会報告
- 05| 「SHINOBI」京都大学総長賞受賞のご報告
- 06| 役員紹介
- 07| 会計報告/会費納入のお願い
- 08| 支部だより
- 14| KARTからのお知らせのご報告
- 15| 学生と先輩との交流会のご案内/学生会SMILEからのお知らせのご報告
- 16| 学生会員への京機会活動紹介/京都大学2022年度学位授与式の風景
- 17| 教員の異動(お知らせ)/メール登録に関するお願い
- 18| 会員のページ
- 20| Zoom付与サービスご紹介

## 会長挨拶

この度京機会会長を拝命いたしました千々木亨です。2012年より2022年12月まで10年間九州支部長を務めておりました。



京機会では九州のような小規模な支部運営しか経験がなく役不足の感は否めませんが、永らく京機会の運営議論に参加させていただいた経験を踏まえ、少しでも皆様のお役に立てるよう尽力いたします。ご協力の程よろしく願いいたします。

京機会では、すでに本部や各支部において様々な活動が展開されております。会員間の懇親行事や学生と企業との交流会も盛んに行われ、中高校生を対象とした出前授業や合同工場見学等の社会貢献活動も展開されています。これらは、諸先輩や会員の皆様が永年にわたり工夫と努力を重ねてこられた賜物であり心より敬意を表します。現役の先生方も京機会の活動に積極的に参加され、御苦勞いただいていることを大変ありがたく思っております。

### I. 会員にとって魅力ある活動の展開

様々な世代のいろんなキャリアの方が集まっている京機会では、これらの活動を持続させ発展させてゆく為には、「会員の方々に魅力を感じてもらえる活動を持続的に展開するしくみ」が重要です。若い方は仕事や勉学に忙しく、京機会活動に時間を割く事に尻込みされる方もおられるでしょう。現役を引退され新たな第二第三の人生を歩むのに忙しい方もおられます。大学の先生方もなんとか時間を捻出して京機会活動を支えて下さっておりますが、研究や教育の本職も益々多忙となられておる中、ご負担に感じておられるかもしれません。

その中で、皆様から支持していただき魅力を感じていただける活動を展開し持続するために、下記の3つの視点を大切にしつつ皆様と活動を進めてゆきたく考えています。

#### ● それぞれの世代の方々に魅力を感じて頂ける企画

京機会では学年単位の同窓会開催を促進すべく、学年毎の連絡網構築を支援し成果を上げてこられました。

そこで次のステップでは、それぞれの世代で関心をお持ちいただけそうなテーマで皆様に魅力を感じていただける企画を展開出来ればと考えています。起業経験者の苦勞話、若手社会人悩み相談、引退後の人生再挑戦、理系女性活躍最前線等々、皆様のご意見を伺いながらテーマを模索してまいります。

#### ● 世代を超えてつながりあい響き合える工夫

インターネットやSNSなどのツールが普及してきたことで、世代を超え同じ趣味や、同分野の社会貢献活動(ものづくり教室等)に関心を持たれている方々がつながりあえる環境が整備されてきたと思います。すでにSNSで個々に連携をとりユニークな活動に挑戦されておられる方もおられます。是非、お知恵をお借りしながら京機会の魅力アップにつなげてゆければと思います。

#### ● 運営負荷低減と効率化

京機短信には、会員の皆様の近況やご意見、研究室やサークルの活動状況、社会の世相やトピックスなど貴重な情報が寄稿され、会員の情報共有の為の重要なツールとなっていますが、編集校正の過程で担当される皆様に大変なご苦勞をおかけしております。会の各種イベント遂行にあたっては毎年多くの方が尽力されておられます。個々の実情をヒヤリングさせていただきながら、これらの運営実務を支援し効率化する方法について皆様と一緒に知恵を絞りたいと考えています。

### II. 機械系教室の魅力発信し社会と共に発展させるしくみ

～産学連携・大学本部との

連携、高校生・在校生・企業の橋渡し～

機械系教室が社会と共に発展してゆくお手伝いをすることは京機会のもうひとつの重要な仕事です。産学連携やリクルート支援ではすでにしくみが出来上がり、会員の方々が活発に活動されておられますので、その活動を支援する環境づくりを目指します。たとえば、京機短信に集積されている研究室や学生の皆さんの活動の紹介情報に企業や研究機関からアクセスしやすいよう再編集したり、情報配布を工夫して機械系教室の魅力をより効果的に発信するしくみづくりを検討します。

女子学生・女性研究者を増やし、女性が活躍しやすい機械系教室を実現することも極めて重要な課題です。女子高校生を対象としたものづくり講義や女性研究者の方々のネットワークづくりなど、時代の要請に即した新機軸の企画を会員の皆様のお力を借りながら進めて行ければと思っております。

### III. 京機会での出会いは、時空を超えてご自身を見つめなおす機会

京機会会員の皆様は、大学に在籍した時期は異なりますが、青春時代を同じ京都の地で過ごし、同じ自然や街並みに親しみ、機械系教室で学問に情熱を傾けたという共通の体験で繋がっています。

がむしやりに頑張っている今の若い学生に昔の自分を投影させて人生をやり直す勇気をもったり、社会で活躍する大先輩の言葉から将来の自分の夢を膨らませたり…、京機会での会員同士の出会いは、時空を超えて過去や未来のご自身の姿に想いを巡らすことで、今を見つめなおす良い機会を与えてくれることでしょう。

是非、京機会の行事でお会いしましょう!

皆様と一緒に知恵をしばりながら楽しく有意義な京機会活動を目指してゆきたく存じます。ご支援ご協力の程よろしく願い申し上げます。

千々木 亨(1979年卒)

## 2024年度 京機会総会開催のご案内

下記の通り開催いたします。出席下さいますようご案内申し上げます

総会・講演会は、オンラインでも参加いただけます。多くのご参加をお待ちしております。

I) 日時:2023年11月5日(日) 11:00~15:45(終了予定)

II) 会場(現地):

< 総会 Part1・特別講演会 > 京都大学吉田キャンパス物理系校舎 3F 313室  
(Zoomを用いたオンライン配信もいたします)

< 総会 Part2・懇親会 > 京都大学百周年時計台記念館 2F「国際交流ホールⅠ・Ⅱ」  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 電話:075-753-2285(百周年記念館)

III) 行事: 10:30~ 受付(物理系校舎 3F 313室前)

1. 京機会総会(Part1) 11:00~11:40

1)開会の辞 2)会長挨拶 3)活動報告および議案審議 4)質疑応答 5)中締め

2. 特別講演会 11:45~12:45



『日立鉄道事業の海外展開(Class 395(CTRL-DS)の開発)』

正井 健太郎氏 <1982卒、(株)日立製作所 エグゼクティブアドバイザー >

(株)日立製作所における鉄道事業は歴史ある事業だが国鉄民営化後は国内中心の事業であった。その鉄道事業が英国における初の高速鉄道プロジェクトCLASS395の受注に成功し、そのプロジェクトの成功を足掛かりに英国ビジネスを拡大させ海外企業の買収を通じて事業の海外展開で大きな成長を遂げ、日立のグローバル化へのフロントランナーとなった過程をCLASS395の開発内容を中心に紹介する。



3. 京機会総会(Part2)・懇親会 13:00~15:45

1)京機会年間活動優秀賞表彰式 2)支部報告 3)閉会の辞  
4)懇親会 5)琵琶湖周航の歌 6)記念撮影



ランチ懇親会

4年ぶりの対面懇親会開催です。今回は、少し広めの会場と長めの時間設定にて皆様がゆっくりご歓談いただける空間と時間をご用意いたします。



また、当日、各地域でのお奨めの美味しい「日本酒」も会場でご提供できるよう計画しております。

IV) 総会(Part2)・懇親会参加費: 会員 7,000円 ご家族 3,000円 学生 3,000円

● 総会(Part1)・特別講演会は、対面参加・オンライン参加共に無料でご参加いただけます。

V) 参加申込締切: 10月25日(水)

● 同封のハガキもしくは、京機会HP (<https://keikikai.jp/>) からの参加申込をお願いします。

(但し、二重受付登録防止のため出欠回答はどちらか一方をお願いします。)

● 2024年度京機会総会は、京都大学同窓会の共催にて開催いたします。

## 2023年度 京機会総会のご報告

日 時:2022年11月4日(土)

13:00~14:00

会 場:京都大学桂キャンパス

船井哲良記念講堂



出席者:95名

2023年度の京機会総会は、2022年11月4日(土)に、京都大学桂キャンパス船井講堂において開催いたしました。COVID-19の感染対策をしながら、実に3年ぶりの対面での開催となり、100名近い皆さんが現地で参加いただきました。先輩方や後輩の皆さんのお顔を直接見ながらお話しすることができる喜びを実感しました。

今年の総会は、機械系工学教室創設125周年の記念事業と同日開催でした。教室主催の行事としては、午前中の研究室見学、14時30分からの記念式典、記念講演、祝賀会が開催されましたので、行事の間の13時~14時に京機会総会を開催いたしました。



総会は、鈴木基史代表幹事(1986)の司会にて、まず初めに野村剛会長(1976)のご挨拶がありました。

続いて、2022年の活動報告では、京機会総会・特別講演会ならびに学生と先輩の交流会、工場見学、社会貢献への取り組みなどが、引き続き、関係者の尽力によってオンラインにて開催されたことなどが報告されました。



次に、今年度の特筆すべき会員の活躍についての報告と紹介がありました。

学生では、機械理工学専攻松野研究室の学生で構成されるレスキューロボット開発・運用チーム「SHINOBI」が、2022年7月13~16日にタイのバンコクで開催された「Robocup世界大会2022 Rescue Robot League」で優勝されました。また、「京大フォーミュラプロジェクトKART」も、9月6~10日開催の「学生フォーミュラ日本大会 2022」にて、総合2位、そして日本自動車工業会会長賞などの多くの賞を受賞されました。

会員では、山西利和さん(2018、愛知製鋼株)が2022年7月16日に、アメリカ・オレゴンで開催された「第18回世界陸上男子20キロ競歩」にて、前大会に続き、2連覇を達成されたことも紹介されました。

また、学生会SMILE運営の「学生と先輩との交流会」は、来年2月に久しぶりに対面形式を復活させての開催となる旨の紹介もありました。

その後、会計幹事の土屋智由さん(1991)による2022年度決算報告、塩路昌宏さん(1975)からの監査報告などの議事が審議されました。 ●決算はP.7を参照ください。

役員改選では、千々木亨さん(1979)が会長に推薦され、承認されました。また、副会長案も承認され、引き続き、新役員が報告されました。



今年度から新しく会長に就任いただく千々木さんは、あいにく会場にお越しいただくことができなかったため、ビデオメッセージによってご挨拶いただきました。 ●役員一覧はP.6を参照ください。

続いて、2023年度活動予定ならびにこれらの活動実施のための2023年度予算案も原案通り承認されました。

●予算案はP.7を参照ください。

最後に、2024年度の総会は、2023年11月に桂キャンパスもしくは吉田キャンパスにて開催することが告知され、閉会となりました。

なお、例年の総会では、各支部から工夫を凝らした活動を報告いただいておりますが、今回の総会では、そのための時間を十分に確保することでできませんでした。そこで、支部関係者にご協力いただき、各支部の活動やお知らせをそれぞれ1ページにまとめていただいた資料を参加者に配布させていただきました。

また、恒例の会長賞・年間活動優秀賞は、長引くコロナ禍において支部活動に貢献していただいた伊東寛和さん(2000)、岡部基彦さん(1998)、今村隆昭さん(1987)、後藤宏さん(1988)、中村久志さん(1981)に「活動優秀賞」、京機短信を2017年5月発行の301号から最近の2022年6月発行の369号まで長きに亘り編集・執筆いただいた吉田英生さん(1978)に「会長賞」が授与されました。

授賞式は、機械系工学教室創設125周年祝賀会会場にて、実施させていただきました。



機械系工学教室創設125周年祝賀会の様子

京機会総会と同日開催「機械系工学教室創設125周年記念事業」の様子も一部ご紹介させていただきます。



京都大学機械系工学教室は、令和4年にめでたく創設125周年を迎えました。創設100周年からの25年間には、京都大学機械系工学教室第二世紀事業への篤いご支援のもと、大学院生や若手研究者の国際交流、産業界と教室との交流、社会人のリカレント教育などに取り組んでまいりました。次の25年にはこれらの取り組みに加えて、若手研究者の組織的な育成、男女共同参画の推進を重点的に進めていきたいと考えております。皆様には引き続きご支援賜りたく宜しく願い申し上げます。<機械系教室関係者一同>

## 「SHINOBI」 京都大学総長賞・工学研究科長賞 受賞

松野文俊研究室(松野教授は2023年3月定年退職、現遠藤研究室)の学生で構成されたレスキューロボット開発・運用チーム「SHINOBI」が、2023年3月20日に「令和4(2022)年度総長賞」を受賞されました。

また、2023年3月17日には、「令和4(2022)年度工学研究科長賞」も受賞されました。今年度にこれらふたつの賞を同時に受賞したのは、「SHINOBI」のみだそうです。

総長賞は、「学業・課外活動・社会貢献活動等において顕著な活躍をし、本学の名誉を高めた学生および学生団体を表彰」するもので、京都大学の全学生・団体が対象となります。2022年度は学業分野から2名、課外活動分野から2名2団体が受賞されました。

「SHINOBI」は、課外活動分野にて、タイのバンコクで2022年7月13～16日に開催された「RoboCup世界大会2022」レスキュー実機リーグで総合優勝やロボットデモやメディア対応によるレスキューロボットの認知度向上が認められての受賞です。



また、工学研究科長賞は、「大学院生を中心とした学生の健全な課外活動及び社会への貢献活動を積極的に評価し表彰」するもので、京都大学工学研究科の学生・団体が対象となります。総長賞と同様に、RoboCup世界大会レスキュー実機リーグ総合優勝や社会におけるレスキューロボットの認知度の向上が認められ、受賞されました。



受賞チームのメンバーは以下の通りです。

(学年は2023年3月現在、敬称略)

道川稜平(D1)、王 璽尋(研究員)、奥田悠史(M2)  
渋谷拓海(M2)、富山 峻(M2)、松田宝徳(M2)  
森本祐生(M2)、武田真承(M1)、奥村和也(M1)

● RoboCup世界大会レスキュー実機リーグ総合優勝の報告は「京機短信No.375」に掲載されております。



京都大学総長賞・工学研究科長賞

W授賞おめでとうございます。

## 2023年度 京機会役員 (敬称略)

< 2023年10月1日現在最新情報 >

\*は新任、正:は正幹事、副:は副幹事の略

【会長】 千々木 亨\*(1979)

【副会長】

松原 厚\*(1985)  
中部 主敬\*(1981、関西支部)  
正井健太郎(1982、関東支部)  
森 雅彦(1985、中部支部)  
高橋 一彦(1983、中国四国支部)  
中村 久志\*(1981、九州支部)  
高橋 歩夢\*(2022、学生会)

【監事】 塩路 昌宏(1975)、仲田 摩智\*(1979)

【代表幹事】正:鈴木 基史(1986)、副:平方 寛之(1997)

【会計幹事】正:土屋 智由(1991)、副:小森 雅晴(1995)

【常任幹事】

大学側幹事:

(関西) 正:横川 隆司\*(2000)、副:澄川 貴志\*(1996)  
(関東) 正:蓮尾 昌裕(1986)、副:平山 朋子(1997)  
(中部) 正:西脇 眞二(1986)、副:岩井 裕\*(1993)  
(中国四国)正:安達 泰治(1990)、副:花崎 秀史(1984)  
(九州) 正:黒瀬 良一(1993)、副:岩井 裕(1993)

【常任幹事】

大学側幹事:

(名簿) 正:岩井 裕(1993)、副:泉井 一浩\*(1996)  
(広報:ニュース)正:横川 隆司(2000)  
副:嶋田 隆広(2004)  
(通信・情報・セキュリティ担当)正:岩井 裕(1993)  
副:細田 耕\*(1988)  
(学生会) 土屋 智由(1991)、長田 孝二\*(1992)  
(教室代表:機械系) 平方 寛之\*(1997)  
(教室代表:エネルギー) 川那辺 洋(1990)  
(教室代表:情報) 大塚 敏之(1990)  
学生会:野口 峻\*(4回生)

地区代表幹事:

(関西)小森 一\*(2000)、(関東)児玉 祐一\*(1996)  
(中部)廣野 陽子\*(2007)、(中国四国)木村 康之(1988)  
(九州)入船佳津一\*(1985)

【顧問】 塩路 昌宏(1975)、野村 剛\*(1976)

【運営委員会】 運営委員長:蓮尾 昌裕\*(1986)

仲田 摩智、中部 主敬\*、正井健太郎、森 雅彦  
高橋 一彦、中村 久志\*、松久 寛(1970)  
松原 厚、鈴木 基史、平方 寛之、土屋 智由

### <本部役員改選のお知らせ>

本部役員の改選は、11月5日の京機会総会で行います。上記役員任期は2023年11月4日までです。

## 2024年度 京機会学年幹事 (敬称略)

2024年度学年幹事は下記の通りです。本年度もご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

本年度の全体幹事会は、10月28日(土)に、オンライン(Zoom)で開催いたします。

詳細案内は、学年幹事宛に別途E-mailでお送りさせていただいております。

卒業学年	氏名								
1951	大塚 義和	1966	中垣 邦弘	1981	榎木 哲夫	1996	泉井 一浩	2011	北條 未来
1952		1967	藤川 卓爾	1982	矢辺 保行	1997	佐野 智一	2012	
1953		1968	来田 浩毅	1983	永瀬 豊	1998	浦木 亨弘	2013	姫野 哲全
1954		1969	鴻野雄一郎	1984	横小路泰義	1999	藤本 亮	2014	後藤 崇
1955	田中 道七	1970	松久 寛	1985	洲崎 章弘	2000	小田 豊	2015	森 幸太郎
1956	赤松 映明	1971	高橋 秀公	1986	蓮尾 昌裕	2001	土井謙太郎	2016	三上 慎司
1957	田中 秀樹	1972	秋山 雅義	1987	川上 浩司	2002	金田 靖弘	2017	米田 奈生
1958	小澤 三敏	1973	増本 雄治	1988	玉川 雅章	2003	吉富 聡	2018	西尾 顕
1959		1974	田上 眞	1989	石谷 善博	2004	安富 亮太	2019	伊 弘樹
1960	矢部 寛	1975	塩路 昌宏	1990	畑 善裕	2005	向 朋作朗	2020	井上 実優
1961	井上 恵太	1976	杉江 俊治	1991	高橋 俊雄	2006	嶋本 淳	2021	石田 尚之
1962	吉岡 肇	1977	星出 敏彦	1992	須山 徹	2007	山田 崇恭		
1963	中川 哲	1978	上原 一浩	1993	岩井 裕	2008	所 哲哉		
1964	岸田 尚	1979	坂口 保彦	1994	茨木 創一	2009	松本 洋平		
1965	池内 健	1980	奥田 寛	1995	小森 雅晴	2010	工藤 朋也		

### <学年幹事決定のご報告>

2023年7月に2024年度学年幹事の継続就任をお願いし、上記幹事各位にご快諾いただきました。

2024年度の任期は2023年11月5日～2024年11月吉日(総会の前日)までです。

# 京機会2022年度(2021.10.1~2022.9.30) 決算 / 2023年度(2022.10.1~2023.9.30) 予算

## 2022年度一般会計正味財産増減計算書 & 2023年度予算

	2022年度		2023年度	
	決算	予算	予算	予算
I 一般正味財産増減の部				
i) 収益				
会費収入	6,395,213	6,200,000	▲ 195,213	6,200,000
寄付収入	25,165	50,000	▲ 24,835	50,000
参加費収入	5,800,000	6,300,000	▲ 500,000	6,974,000
名簿販売収入	12,000	20,000	▲ 8,000	0
名簿広告収入	20,000	0	20,000	0
受取利息	189	200	▲ 11	200
雑収入	0	0	0	0
名簿引当金戻入	600,000	600,000	0	0
収益計	12,852,567	13,170,200	▲ 317,633	13,224,200
ii) 費用				
給与手当	4,324,565	4,402,000	▲ 77,435	4,400,000
法定福利費	688,921	700,000	▲ 11,079	740,000
会議費	599,209	1,380,000	▲ 780,791	2,430,000
旅費交通費	0	400,000	▲ 400,000	450,000
印刷費	2,025,667	2,210,000	▲ 184,333	1,110,000
通信費	612,680	705,000	▲ 92,320	525,000
消耗品費	34,847	100,000	▲ 65,153	130,000
WEB等管理費	513,356	550,000	▲ 36,644	600,000
減価償却費	117,704	120,000	▲ 2,296	110,000
雑費	204,768	230,000	▲ 25,232	240,000
支部交付金	1,433,932	1,450,000	▲ 16,068	1,560,000
スマイル活動費	14,000	100,000	▲ 86,000	100,000
機械系教育補助費	0	340,000	▲ 340,000	340,000
地域・社会貢献事業等補助費	0	50,000	▲ 50,000	50,000
名簿引当金繰入	200,000	200,000	0	200,000
雑損失	0	0	0	0
その他(法人税等)	245,000	233,200	11,800	239,200
費用計	11,014,649	13,170,200	▲ 2,155,551	13,224,200
一般正味財産増減額	1,837,918	0	1,837,918	0
一般正味財産期首残高	12,416,132			
一般正味財産期末残高	14,254,050			

## 2022年度特別会計正味財産増減計算書

II 特別正味財産増減の部	
i) 収益	
預金利息	46
収益計	46
ii) 費用	
雑費	0
費用計	0
特別正味財産増減額	46
特別正味財産期首残高	17,675,831
特別正味財産期末残高	17,675,877
III 正味財産期末残高	31,929,927

2022年度正味財産期末残高 31,929,927円

## 2022年度 貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	397,706	未払金	360,305
普通預金	31,528,503	預り金	41,490
定期預金	2,800,000	名簿引当金	0
器具備品	230,513	退職給付引当金	2,625,000
ソフトウェア	0	負債の部合計	3,026,795
備蓄品	0	正味財産の部	
前払金	0	一般正味財産	14,254,050
		特別正味財産	17,675,877
		正味財産の部合計	31,929,927
資産の部合計	34,956,722	負債及び正味財産合計	34,956,722

## 会費納入のお願い

長らくコロナ禍で厳しい状況でもございますが、皆さま、京機会へのご支援・ご協力ありがとうございます。

### 2023年度・2024年度の会費の納入をお願いします。 年会費は、従来どおり3,000円です。

2023年度<2023. 4. 1~2024. 3. 31>

2024年度<2024. 4. 1~2025. 3. 31>をそれぞれ1年分と考えてご納付ください。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。是非、会費納入にご協力ください。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用ください。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

### ● 永年会員登録のお勧め

1986年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録ください。(但し、実際既払込会費の返金はいたしません。)

### ● 銀行口座振込もご利用できます。

右記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込ください。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします。(海外送金は除く。))

# 口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821  
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630  
郵便振替口座 00990-8-116821

### ● 京機会年会費自動引落のお勧め

各位の振込の手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願い申し上げます。

申請の際は、同封の用紙をご使用ください。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用ください。

申請依頼書は6月末迄に京機会事務局宛にご郵送ください。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 4階 b4S13  
京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局

■ 年会費の自動引落日は毎年8月1日です。

### ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。

前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 2022・2023年度寄付者(2022.9.1~2023.8.31)

中川 哲 様(1963) 垂水 泰正 様(1968)  
平岡 薫 様(1993) 吉武 裕二 様(2020)  
昭和35年卒業生ご一同 様



2023年度関西支部役員

2023年度支部総会・新年会

日時:2023年1月21日(土)

場所:ホテルグランヴィア大阪+オンライン

参加人数:講演会・総会85名、新年会60名

参加費:無料

講演会

「最適設計の現在と将来」をテーマに、泉井一浩先生(1996、マイクロエンジニアリング専攻)にご講演いただき、近年の数値計算手法の発展に伴って進歩を遂げている最適設計の方法について、製品の形を最適設計する構造最適化と、その考え方、熱流体問題のデバイス設計、マルチマテリアル設計などへの応用等、最新的话题を概説いただきました。また、設計プロセスの中で最適化の方法をより有効に活用するための各種取り組みについて紹介いただきました。



支部総会

支部総会を実施し、以下項目を報告し議決されました。

2022年度 活動報告・会計報告

2023年度 役員改選・活動報告案・予算案

2022年度会計報告

(自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)

(単位:円)

収入				支出			
項目	R4予算案	R4実績	差	項目	R4予算案	R4実績	差
新年会参加費	0	0	0	新年会経費	92,000	89,840	2,160
本部からの交付金	463,629	463,629	0	産学懇話会	100,000	22,960	77,040
普通預金利息	50	34	-16	農業種交流会運営費	50,000	0	50,000
				京機カフェ活動費(若手会含む)	200,000	91,270	108,730
				関西支部運営会議費(新歓含む)	200,000	102,365	97,635
支部同窓会企画	110,000	84,000	-26,000	支部同窓会企画	300,000	232,380	67,620
				支部活性化予算	200,000	96,880	103,120
				オンライン会議運営用(パソコン)	200,000	0	200,000
R3年度入金の修正	165	165		その他経費(振込手数料)	1,000	1,775	-775
単年度収入合計	573,679	547,828	-25,851	単年度支出合計	1,343,000	637,470	705,530
R3年度からの繰越金		3,469,586		R5年度への繰越金計(現時点)			3,379,944

2023年度予算案

(自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)

(単位:円)

収入				支出			
項目	R5予算案	R4実績	差	項目	R5予算案	R4実績	差
新年会参加費	541,000	0	541,000	新年会経費	950,000	89,840	860,160
本部からの交付金	505,869	463,629	42,240	産学懇話会	100,000	20,960	79,040
支部同窓会企画	100,000	84,000	16,000	農業種交流会運営費	50,000	0	50,000
普通預金利息	34	34	0	京機カフェ活動費(若手会含む)	200,000	91,270	108,730
R3年度入金の修正	0	165	-165	関西支部運営会議費(新歓含む)	200,000	102,365	97,635
				支部同窓会企画	263,000	232,380	30,620
				支部活性化企画	200,000	96,880	103,120
				その他経費(振込手数料)	1,000	1,775	-775
単年度収入合計	1,146,903	547,828	599,075	単年度支出合計	1,964,000	635,470	1,328,530
R4年度からの繰越金		3,379,944		R6年度への繰越金		2,562,847	

支部長:中部 主敬(1981)

副支部長:横川 隆司(2000)、澄川 貴志(1996)

中本 和男(1990)、長崎 達夫(1986)

赤松 真児(1993)

事務局長:小森 一(2000)

事務次長:吉永 光弘(1993)

監事:仲田 摩智(1979)

新年会

講演会・総会に引き続き、恒例の関西支部新年会を、今回は3年ぶりにリアルで開催しました。まだコロナ対策が一部継続される中、着席かつパーティションを設置した上での開催でしたが、参加者は久々のリアル開催を楽しんでいました。

恒例の福引大会では加湿器、焼肉セット、マッサージ器、鉄道グッズなどの景品が準備され、歓喜の場が一層盛り上げられました。

最後は、「琵琶湖周航の歌」を斉唱し、次回の再会を誓い合いながら閉会いたしました。



同窓会企画

日時:2022年10月29日(土)

場所:京都大学本部 時計台記念館+オンライン

参加人数:24名(現地21名+オンライン3名)

卒業年次によっては同窓会が開催されていない現状を踏まえ、関西支部主導で卒業後10年、20年の会員を対象とした同窓会企画は、2021年度に続いて2回目の実施となりました。(2002年学部卒、2012年学部卒対象)支部事務局が主導しつつ、同窓生自らが幹事として手掛ける同窓会とし、クイズ大会なども織り交ぜながら、楽しい会食の時間を過ごすことができました。





■ 産学懇話会

○第53回:2022年10月8日(土)

場所:京都大学本部キャンパス+オンライン(Zoom)

テーマ:「カーボンニュートラルエネルギーシステムへの挑戦(2) ~CO<sub>2</sub>固定およびエネルギーマネジメント~」

講演:「分散型エネルギーシステムの災害時レジリエンス評価手法の開発」 東芝エネルギーシステムズ(株) 堺 紀夫氏

「CO<sub>2</sub>の分離回収・貯留(CCUS)とその有価物転換」

東芝エネルギーシステムズ(株) 藤田 己思人氏

「トロップ・イン・バイオ燃料を目指して~バイオディーゼルの軽質化とその燃焼特性~」 滋賀県立大学 河崎 澄先生

○第54回:2023年6月24日(土)

場所:京都経済センター

テーマ:「カーボンニュートラルエネルギーシステムへの挑戦(3) ~低温熱源からの熱回収・活用技術~」

講演:「排熱を利用したスターリンクエンジン発電システムの開発」 ヤンマーホールディングス(株) 北崎 真人氏

「高効率廃熱利用に向けた新規熱電材料・デバイス化開発」 パナソニックホールディングス(株) 玉置 洋正氏

「熱電発電によるエネルギー回収と応用製品の開発」

(株)KELK 村瀬 隆浩氏

低温熱源からの熱回収に関する最新の技術動向についての興味深い内容で活発な意見交換を行いました。

■ 京機カフェ

詳細、申し込みは関西支部ホームページを参照ください。

● ゴルフカフェ

日時:2022年10月22日(土)

場所:瀬田ゴルフコース(滋賀県)

合計9チーム35名で開催し、島津製作所チームが優勝、大阪ガスチームが準優勝でした。



● 京都あそ步

日時:2023年4月9日(日)

場所:金戒光明寺、吉田山荘 参加人数:16名

金戒光明寺本堂の拝観、真如堂、塔頭立ち寄りなどで歴史や文化に触れるとともに、吉田山荘にて懐石料理のフルコースを楽しみました。



● テニスカフェ

日時:2023年5月13日(土)

場所:島津製作所三条工場内テニスコート

80歳代から30歳代まで幅広く集まり、今回は過去最大の20名(うち初参加7名)の参加となりました。大いに盛り上がり、元気一杯プレーを楽しみました。



● 文楽鑑賞会

日時:2023年7月29日(土)

場所:国立文楽劇場 参加人数:15名

演目:近松門左衛門作「妹背山婦女庭訓」

文楽という少し敷居が高いですが、前もってストーリーを予習していくとなかなかいいものです。形の指先の動きで感情を表現するところなど一見の価値があります。若手の方も奮ってご参加ください。

● 新規事業・イノベーションカフェ

○第8回:2023年6月14日(水)

場所:うめきたグランフロント ナレッジサロン

伝統的大手企業内で新規事業・イノベーションを推進するにあたっての課題や、どのような学び・能力強化が必要か、などについて意見交換しました。

● その他カフェ活動も随時実施しています

■ 若手会

「マジックショーと認知心理学講演会」と題して、2023年10月7日(土)に開催します。

■ 関西支部活性化企画

次世代を担うメンバーの京機会活動の参加者増加の一策として、京機会所属10年目迄の会員に補助することで、各企業内で若手を含めた企画を推進しています。

2023年度はまだ活動実績がありませんので、各企業の皆さままで活動の向きがあれば、事務局長までご連絡ください。

■ 総括と今後の予定

2023年度は、それまでコロナで活動を抑制していた状況から開放され、リアルでの活動が活発になってきました。それぞれ、コロナにより改めてリアルの重要性や、楽しさに気づくことができたのではないのでしょうか。今後 さらに活発な活動を進めていきたいと思えます。

● 今後の予定

詳細は京機会ホームページでの正式案内をご参照ください。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 2023年9月13日(水) | 新規事業・イノベーションカフェ |
| 10月7日(土)      | 若手会             |
| 10月7日(土)      | お笑い観劇会          |
| 10月21日(土)     | 同窓会企画           |
| 11月2日(木)      | 異業種交流会          |
| 11月11日(土)     | ゴルフカフェ          |
| 12月16日(土)     | 産学懇話会           |
| 2024年1月21日(日) | 関西支部総会・新年会      |



■ 関東支部総会

2023年4月8日(土)に学士会館とオンラインのハイブリッド形式で総会を開催し、総会と懇親会を合わせて91名の方々ご参加いただきました。講演会では、4月より京都大学副学長に就任された榎木哲夫先生(1981)による「人間の知を探り、機械の知を究め、共創の知をデザインする」と題した講演をいただきました。人間と機械の知を融合した知的システムと今後の社会に関するご講演をいただきました。続く講演では、2019年に京都フュージニアリングを設立され、現在もCEOを務められている長尾昂様(2005)による「京都大学発・核融合スタートアップが考える、核融合産業の戦い方と、Deep Tech Startupのリアル」についてご講演をいただきました。脱炭素社会に向けた今後の大きな技術革新となるフュージョンエネルギーの技術動向についてわかりやすくご説明いただきました。どちらの講演も、会場やオンライン参加者から活発な質疑があり、大変好評を博し、無事に終了することができました。



懇親会では、京機会の千々木亨会長(1979)より挨拶をいただいた後、KARTの現役メンバーの平野さんにリモートで活動報告をいただき、出席者の方々から励ましの声と寄付が多く寄せられました。最後は正井健太郎支部長(1982)のご挨拶で会が締め括られました。



■ 異業種交流会

2022年10月12日(水)に、3年ぶりに異業種交流会を開催いたしました。日本航空様のご協力により、JAL整備用格納庫を見学させていただきました。27名に参加いただき、間近で機体整備を見学し、安全性やお客様へのもてなしに対する真摯な取り組みの説明を受け、皆様から大変好評の声をいただきました。

見学後は、懇親会にて、山本謙前支部長(1975)より差し入れていただいた京大125周年記念ワインをいただきながら、交流を深めました。



■ 写真同好会撮影会

2023年5月27日(土)に千葉県松戸市の本土寺にて参加者8名で撮影会を開催しました。

あじさいにはまだ少し時期が早かったのですが、菖蒲はキレイに咲いておりよい被写体となりました。また、増本雄治様(1973)の計らいで、普段は入れない本堂や宝物殿も案内していただき、貴重なお話を聞かせていただきました。最後は本土寺近くで懇親会を行い、楽しいひとときを過ごしました。

次回秋の写真撮影会は、11月に開催予定です。



● 今後のイベントのお知らせ

昨年度はコロナ禍や天候の影響などで、いくつかのイベントが開催できませんでしたが、10月以降も異業種交流会、ゴルフ同好会、MOTセミナーの開催を計画しています。

詳細案内は京機会HPに掲載いたしますので、多数の方のご参加をお待ちしております。



中部支部総会のご報告

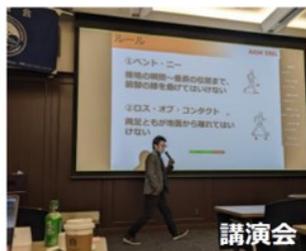
日時:2023年4月22日(土)  
 場所:DMG森精機(株)+ZOOM  
 参加者:総会47名(講演72名、懇親会47名)

■ 総会

今年は4年ぶりのリアル開催となりました。リモート配信との併用のため少し手間取る場面もあったり、久々のリアル開催で進行ペースが予定より早かったりもしましたが、2023年度の活動体制案、活動案、予算案について承認されました。

■ 特別講演会

今年はリアル会場にて、京機会員であり世界陸上で2連覇を達成された競歩選手の山西利和様(2018)より「競歩を通して見る世界」を、海洋研究開発機構の高井研様より「極限環境生物や地球外生命の面白さ」についてご講演をいただきました。競歩のフォームやルール説明を実演いただいたり、アドリブを交え会場とのやり取りをしながら講演いただいたりなど、リアルならではの面白さを実感でき参加者には充分に楽しめていただけたと思います。



懇親会に参加頂いた皆さん

■ 懇親会・新人歓迎会

コロナウイルスが5類へ移行する前にも関わらず、47名の方々にリアル参加いただきました。多くの方々は久しぶりという感じで各々会話をされており、旧交を温めておりました。また、講演者のお二方にも参加いただき直接にお話を伺うことでより深く講演内容を理解することができたと思います。余興のクイズでは、リアル会場に

て雑談しながら共同参加することでリモートにはない楽しさを体感できました。次回はより多くの方にリアル参加いただけますようお願いしております。

[担当幹事:田中、松木、藤、勝野]

学生工場見学会・第34回技術交流会のご報告

日時:2022年9月26日(月)  
 会場:オンライン会議システムZOOM

学生工場見学会には、学生18名が参加し、(株)豊田自動織機、日本ガイシ(株)、DMG森精機(株)より、工場案内動画の紹介や先輩社員との質疑応答を行いました。

また、コラボ企画の技術交流会では、中部電力(株)電力技術研究所、先端技術応用研究所様より、浮体式洋上風力・波力発電、水素・アンモニア混焼、バイオマス発電など、再エネを含む最新技術について、講演いただきました。関東、関西、中国四国支部からも多数参加いただき、OB/OG、学生も含め、約70名参加の盛会となりました。

[担当幹事:新家、川口、黒柳]

第35回 技術交流会のご報告

日時:2023年8月9日(土)  
 会場:静岡県 浜岡原子力発電所 参加者:17名

◎ 安全対策を進める浜岡原子力発電所を見学

浜岡原子力館にて、浜岡原子力発電所の説明を受け、その後、バスにて発電所構内の見学を実施しました。10年ぶりの浜岡原子力発電所の見学会であり、参加者それぞれの思いを抱きつつ、活発な質疑応答が行われました。

厳重な管理と本人確認を経て、通常では立ち入ることができない管理区域の見学コースが特別にアレンジされました。圧倒される防波壁(海拔22m)、要塞を惹起させる制御室、異次元の世界に迷い込んだような燃料貯蔵プールと原子炉格納容器、何重にも張り巡らされた安全対策設備に触れることができ、エネルギー資源を持たない日本として、エネルギーセキュリティの観点から、原子力をどう位置付けていくかを考えさせられる機会となった、という参加者からの感想をいただいております。





2023春季行事のご報告

日時:2023年6月10日(土) 9:30~20:30

場所:広島市~宮島

参加者:26名(うち7名がリモート)

中国四国支部としては支部総会と異業種交流会において初めてのハイブリット開催としました。

会場のTKP広島駅前にて17名が(うち2名は他支部から参加いただきました)、Zoomを活用しリモートにて7名(うち他支部から3名)が参加。

異業種交流会は前半の講演会に京機会の川上浩司様(1987)をお迎えし、プレゼンのあとにQ&Aセッションで会員の理解を深めた後は場所を変え、川を挟んだ「ザロイヤルパークホテル広島リバーサイド」にて懇親会を開催し、久しぶりのリアルな相互交流を喜び合うことができました。

支部総会と異業種交流会に先立ち、今回は広島観光のイベントを企画し、G7サミットの印象も新鮮な平和記念公園から高速艇を経由して宮島観光という旅程にしたことで、皆さんにご堪能いただけました(13名参加)。

なお、千々木亨京機会会長(1979)には観光イベントから懇親会までフルにご参加いただきました。



■ 支部総会

冒頭に高橋一彦支部長(1983)による挨拶があり、2年ぶりのリアル開催を喜ぶコメントと共に京機会活動のさらなる活性化を図りたい旨決意表明がなされました。

次に、昨年度からの支部活動の総括および次期役員体制の説明、さらに支部活動への各会員のご協力への感謝の言葉が述べられました。

また、決議事項(2023役員体制・支部会計・支部規約の改定)および報告事項(2022活動実績等)を付議し、決議事項は全会一致で承認されました。

■ 異業種交流会:講演会

京都先端科学大学工学部教授 川上浩司様によるご講演を賜りました。



京機会の皆様の多くがご存じの不便益システム研究所の代表もされている川上先生から不便益にまつわる様々な面白いエピソードや理論的な背景などをうかがうことで、工学教育の幅広さ、奥深さを感じる機会になりました。

■ 懇親会

高橋支部長の開会宣言に引き続き、千々木亨京機会会長のご挨拶、稲本信秀様(1977)の乾杯のご発声を皮切りに懇親会をスタートしました。千々木会長からは、支部横断型の活動のひとつである「お酒文化とものづくりを考える会(仮称)」の構想をご紹介いただき、日本酒を一升瓶で差し入れいただきました。

異業種交流会でご講演いただいた川上先生にもご参加いただき、川上先生がご監修された「素数ものさし」争奪のじゃんけん大会、琵琶湖周航の歌の唱和などをちりばめながらあっという間に時間が過ぎてしまい、前々支部長の田中善一郎様(1982)の中締めあいさつにてお開きになりました。



● 支部役員体制

2022年度の体制を2023年度も継続することを決定しました。

支部役員(2023年度・敬称略)

支部長	高橋 一彦(1983)
副支部長	豊嶋 範男(1982)、石田 英芳(1987)
〃	安達 泰治(1990)
監事	小川 誓(1987)
事務局長	木村 泰之(1988)
事務局次長	白崎 琢也(2002)
評議員	岡 宏一(1981)、多田 直哉(1987)
〃	後藤 宏(1988)
顧問	稲本 信秀(1977)、田中善一郎(1982)
〃	古屋 博章(1982)

2023 秋季行事のご案内(予定)

- ・開催時期:2023年12月(未定)
- ・会場:広島市内(未定)
- ・(1)支部運営会議 (2)会員交流会



2022年度九州支部 秋の行事

2022年12月10日(土)にリモートミニ講演会と支部総会と懇親会を実施し14名の方にご参加いただきました。

会場の料亭「金鍋」(北九州市)にWiFiを持ち込んだのリアル&リモート開催となりました。

■ ミニ講演会

黒瀬良一副支部長(1993)に「スーパーコンピュータ「富岳」とものづくり」という演題でご講演いただきました。富岳を用いた最前線の熱物理学工学の研究内容をご紹介いただき、脱炭素社会構築の為に今後重要となるエネルギー設備の効率最適化へ向け日々挑戦を続けておられることを再認識しました。質疑応答では将来のエネルギーのあるべき姿にまで議論が及び、京機会らしい講演会となりました。



■ 支部総会

支部総会では、旧年度の事業報告と新年度計画が承認され、下記の2023年度役員を選出しました。

新支部長に中村久志氏(1981)、事務局長に入船佳津一氏(1985)が選出されました。

支部長	中村久志 (1981)	TOTO (株)
副支部長	黒瀬良一 (1993)	京都大学
事務局長	入船佳津一 (1985)	TOTO (株)
事務局次長	長友志朗 (1999)	三菱電機 (株)
会計	清水明 (1971)	元 三菱重工業 (株)
監事	角倉潔 (1990)	がばしま法律事務所

■ 懇親会

懇親会では、リアルとリモートで情報交換したり、純金鍋で日本酒の試飲に挑戦する等、会員同士で盛り上りました。



2023年度九州支部 春の行事

九州支部では長年続けています「各所を巡るツアー」と「モノづくりの魅力を若い人達へ伝える」活動の見学会を2023年6月17・18日(出前授業16日)に開催しました。会員・関係者13名がご参加くださいました。我が支部では「楽しむ」「社会貢献」をキーワードに活動しています。今回の行事もそれに沿った形で計画・実施いたしました。懇親会の席で「モノづくり」について、参加者全員で語り合ったことなど、楽しい思い出とエピソード満載な行事となりました。

■ JR九州名物列車乗車の旅

-「A列車で行こう」試乗と世界遺産「三角西港」見学-

6月17日は、熊本駅集合で、普通列車(キハ47)で三角駅へ。熊本駅出発直前に、「ななつ星」がやってくる嬉しい出来事もあり、出発前から気分最高でした！三角では、世界遺産でもある「三角西港」をそぞろ散策し、明治の初期、日本を発展させた先達の偉業に思いを馳せました。



熊本への帰路は、特急「A列車で行こう」に乗車。ハイボール片手にジャズと八代海の車窓をたっぷり楽しんだ40分の旅でした。その後は、「子供モノづくり教室」見学会組と合流し、熊本市内の「雅夢-GAMU-」で懇親会を実施しました。モノづくり談議に花を咲かせたり、今回は、会員のご友人である作家の方などの参加もあり、機械系とは違う方面の話題などでも大いに盛り上がりました。



-「SL人吉号」試乗-

翌日18日は、今年で運行が終了するJR九州快速「SL人吉号」に乗車(熊本→鳥栖)しました。熊本駅にSLが入ってくる時点ですでにワクワク、ドキドキ！動き出して間もなく、西南戦争の激戦地「田原坂」を黒煙を上げて登る様子、玉名駅での撮影タイム、座席では、各々「動力伝達のしくみ云々」のうんちくがさく裂し、あっという間に、鳥栖駅に到着いたしました。JR九州の「名物列車」を堪能した2日間でした。



## 2023年度九州支部 春の行事

### ■九州支部発 社会貢献事業

#### 久留米工業高等専門学校 ものづくり出前講義

6月16日(水)、久留米工業高等専門学校にて、ものづくり出前講義を行いました。昨年、オンラインで好評を博した藤川卓爾氏(1967、元京機会会長)の『エネルギーのはなし』を今年は学校へ伺い、教室で行うことができました。参加学生は、3、4年生機械系約100名で、皆さん興味津々の面持ちで、その真剣さが伝わってきました。また、女性の学生さんの多さに驚きました。



なお、本年11月3日(金・祝)には、今年も福岡県立修猷館高校において、中村久志支部長ご講演による「ものづくり出前講義」も実施予定です。

### ■「子供ものづくり教室」見学会

2023年6月22日(水)、相馬和夫氏(1975、元九州支部長)が長年講師を務められている「熊本市少年少女発明クラブ・モノづくり教室」(会場:崇城大学)の見学会を実施しました。教室では子供たち約20名が、自分で考え、図面(絵)にしたものを、実際にいろいろな材料を加工しながら、形にしていきます。3時間の長丁場ですが、皆さん、「全集中」で取り組んでられました。

相馬氏曰く、「自分で考える」が最重要とのこと。



### ●今後の予定

秋の行事・支部総会は、12月9日(土)に開催予定です。詳細は京機会ホームページでの正式案内をご参照ください。

## KARTからのお知らせとご報告

今年も8月28日から9月2日までの6日間で学生フォーミュラ日本大会動的審査が静岡県小笠山総合運動公園エコパにて開催されます。

私たちKARTはこの大会において総合優勝を勝ち取ることを目標に今年度の活動を行ってまいりました。

今年度大会に出場する車両『KZ-R19』は、車両全体のパッケージの再検討を踏まえ、一新したカーボンモノコックフレームの採用やエンジン冷却系の大幅なレイアウト変更など、昨年度までの車両からの大きな変化に加え、開発を進めてきた電子制御スロットルやシームレストランスミッションのような新技術の搭載を特徴としております。動的審査においては、運動性能および操作性の向上によって走行タイムの短縮を狙います。



図1 KZ-R19の完成図

動的審査に先立って行われる、コスト審査、プレゼンテーション審査、デザイン審査の3つの静的審査について、コスト審査およびプレゼンテーション審査においては昨年度大会で評価されていた点を中心に改良を加え、得点の向上を狙います。また、デザイン審査においては、今年度力を入れた、エンジン吸排気系の出力に及ぼす影響やラジエータによる冷却性能の実験的検証などを武器に、最高得点を目指します。

今年度は主要メンバー全員が車両を一から設計、製作するという経験したことのない状態でのスタートだったこともあり、設計、製作において多くの困難に

直面し、思い通りに進まないことも多々ありましたが、KARTの活動を支えてくださる皆様の温かいご支援・ご指導のおかげでそれらの困難を乗り越えることができ、8月6日をもって初走行を完了いたしました。大会までに残された時間はあとわずかですが、最後まで調整を繰り返し、車両の完成度を高め、万全の状態で開催に臨めるよう尽力してまいります。

最後になりましたが、いつも京都大学フォーミュラプロジェクトKARTを応援いただき、ありがとうございます。これからも大会に向けてチーム一同一路邁進してまいりますので、引き続き温かいご声援のほどよろしくお願いいたします。



図2 走行を行うKZ-R19

京都大学フォーミュラプロジェクト KART  
2023年度プロジェクトリーダー 加藤 雅大  
ホームページ: <http://www.formula-kart.org/>

●本報告は、大会開催前にご提出いただきました。大会の様子は京機短信でご紹介しております。

## 学生と先輩との交流会にかかるお知らせ

2023年12月16日(土)に、京都リサーチパーク(会場)で開催します!



「学生と先輩との交流会」を、2023年12月16日(土)に、京都リサーチパーク(京都市下京区: JR丹波口より徒歩5分)にて、対面で開催いたします。

昨年度は3年ぶりに対面で開催いたしました。今年度の交流会も対面で開催いたします。また、開催日を12月に変更したことで、より多くの企業や学生の参加も見込んでおります。

● 企業への参加案内は、8月23日付で、京機会会員所属企業宛に郵送いたしました。

案内状がお届けできていない企業もございますので、本交流会にご興味をお持ちいただいた場合は、京機会事務局までご連絡下さい。なお、本紙到着現在(10月)で、定数に達している場合もございます。その節はご容赦ください。

### ～ 学生と先輩との交流会とは ～



本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会での仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただき、例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業にご参加いただいております。

**全ての学生会員の“ご参加”お待ちしております!!**

## 学生会SMILEからのお知らせとご報告

### 学生と先輩との交流会 2023 のご報告

2023年2月22日(水)に、京都リサーチパーク4号館で「2023年学生と先輩との交流会」を開催いたしました。

これまではコロナ禍により、過去数回の交流会はオンラインで開催されました。しかし、対面開催の方が活発に交流できると考え、今回は、対面開催を目指しました。各企業のブース間隔を広めに取り、交流会後の懇親会では食事時間と交流時間を分けるなどの対策により、感染防止にも努めました。結果、無事、対面で開催することができました。当日は、京機会会員の方が在籍される76社の企業様にご参加いただき、学生と活発に交流を行っていただきました。たくさんのご参加ありがとうございました。



懇親会の様子

### 学生会の近況 (会長：高橋 歩夢)

学生会SMILEは代々、多くの先輩方の献身的な活動によって成り立ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を制限され、学生会の活動ができず学生会の認知度・規模が小さくなってしまいました。それを改善するために、前会長の石田尚之さん(2021)を筆頭にメンバーが互いに協力し合うことで、以前の盛り上がりに戻ってきました。私はその姿に心を惹かれ学生会に加入しました。これまでのメンバーの意志をつなぐためにも、学生会が主体となって積極的に活動を行い、学生会をさらに盛り上げていきたいと考えています。ご理解ご協力の程よろしくお願ひいたします。



学生会メンバーの集合写真

京機会学生会SMILEは、学生同士・OB間の交流の促進を目的として設立された団体であり、様々なイベントの計画・実行を行っています。**新入会員も随時募集中!** E-mail: keiki.smile@gmail.com

## 学生会員への京機会活動紹介

京機会は、卒業生のための同窓会組織ですが、近年、学生会員(機械系専攻在学生)向けの行事や支援も数多く行っています。

### 2回生 工場見学会

2回生講義「機械製作実習」の一部として実施する工場見学会に対して、見学先の手配などの支援を行っています。本会は、機械システム学コースの勉強と実社会での技術者の活動の関係を知る貴重な機会です。

2023年度は、8月25日(金)に、西日本旅客鉄道(株)様と大阪ガス(株)様を見学しました。

### 中部・関東工場見学会

機械システム学コースの公式行事で、京機会、中部支部、関東支部、京機会学生会SMILEの協力のもと実施される2泊3日の工場見学ツアーへの参加費補助を行っています。見学の他に、懇親会には京大OBの若いエンジニアが多数ご参加いただき、社会人と知り合う機会ができます。普段は聞けない社会人の本音を聞かせていただくことができ、将来の就職に役に立つ企画です。

2023年度は、9月13日(水)~15日(金)に実施され、DMG森精機(株)、(株)デンソー、日本ガイシ(株)、三菱電機(株)、日本航空(株)を見学しました。

### 学生と先輩との交流会

学生会SMILEとの共催で、毎年約100社の企業にご参加いただき、各社からも好評をいただいています。

2023年度は、コロナ感染対策を踏まえながら、2月22日に3年ぶりに対面で開催し、懇親会も実施できました。

2024年度は、2023年12月16日(土)に開催します。

### 修士修了生・卒業生記念写真撮影

機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位授与式、ならびに機械システム学コース卒業証書授与式終了後、記念撮影を行っています。

### 修士修了記念パーティー

新社会人となる修士学生会員を対象として、博士修了・学部卒業の学生会員も交え、学位記授与式後の記念写真撮影後、記念パーティーを開催しています。

2024年度には、記念パーティーを開催する予定です。

### 新社会人への記念品贈呈

新社会人となる学生会員には修士修了パーティーへの招待と共に、京機会特製本皮名刺入れを贈呈しています。



### 脇坂基金の運用・管理

脇坂基金は、国際会議等で初めて研究発表する学生に交通費等を補助します。京機会は、本基金の運営を預かり、学生への対応を行っています。

本年から再開する予定です。

### 京機会各種行事の参加

学生会員は、京機会の各種行事への参加を歓迎されています。特に懇親会では格安の学生価格で参加できます。

## 京都大学 2022年度学位授与式記念写真 (2023年3月24日)



学部卒業式の風景



修士学位授与式の風景

## 教員の異動

### 新任

◆**細田 耕教授**:1993京大・工・機械工学専攻博士後期課程修了、1993～1997大阪大・工学部助手、1997～2010同准教授、1998チューリッヒ大学計算科学科客員教授、2005～2011JST ERATO浅田共創知能システムプロジェクトグループリーダー、2010～2014大阪大・情報科学研究科教授、2014～2023大阪大・基礎工学研究科教授。身体性認知科学、ソフトロボティクスなどの研究に従事。島根県出身。



◆**長田 孝二教授**:1992九大・工・化学機械工学科卒、1994同工学研究科・修士課程修了、1995同博士課程中退、1995同工学研究科助手、1998本学機械工学専攻助手、2000.11 本学博士(工学)、2001.11 本学機械工学専攻講師、2005名古屋大学工学研究科機械理工学専攻准教授、2015同航空宇宙工学専攻教授、2023本学機械理工学専攻教授。流体力学、特に乱流輸送現象と空気力学に関する研究に従事。熊本県出身。



◆**新宅 博文教授**:2002京大・工・物理卒、2004同大学院工学研究科・修士課程修了、2006.9.30同博士後期課程修了、2006.10.1大阪大学大学院基礎工学研究科助教、2012本学マイクロエンジニアリング専攻助教、2018理化学研究所開拓研究本部理研白眉研究チームリーダー、2023本学医生物学研究所教授、マイクロ・ナノスケール流動を活用した細胞および生体分子の計測に関する研究に従事。広島県出身。



### 昇任

◆**泉井 一浩教授**:1996京大・工・精密工学科卒、1998同大学院工学研究科・修士課程修了、2005同博士(工学)取得、1999.4.1本学精密工学専攻助手。航空宇宙工学専攻、機械理工学専攻助教を経て、2011.10.1機械理工学専攻准教授。2022.10.1マイクロエンジニアリング専攻教授。機械システム・構造物・生産システムの最適化、複合領域の最適設計法に関する研究。大阪府出身。



### 新任

◆**梅田 悠平助教**:2012広島大・理・地球惑星システム学卒、2017同大学院理学研究科博士課程修了、同年大阪大学工学研究科特任研究員、2020岡山大学惑星物質研究所特任助教、2021日本学術振興会特別研究員PD、同年11.1本学複合原子力科学研究所助教。量子ビームを利用した高圧力環境生成技術と物質解析技術を用いて惑星鉱物や材料の性質を研究。広島県出身。



◆**見波 将助教**:2015金沢大・理工学域・数物科学類卒、2017同大学院・自然科学研究科・数物科学専攻・博士前期課程修了、2020同博士後期課程修了、2020.4.1東大工学系研究科特任研究員、2022.1.1同特任助教、2023.1.1本学機械理工学専攻助教。磁性体を活用した新奇熱電変換材料に関する理論解析の研究に従事。新潟県出身。



◆**郭 玉婷助教**:2014西北大・工・化学工学卒、2017同大学院工学研究科・修士課程修了、2021東北大工学研究科・ファインメカニクス専攻・博士後期課程修了、同年東北大流体科学研究所学術研究員、2022.10.1特任助教を経て、2023.7.1本学機械理工学専攻助教。ナノ・マイクロスケールの熱・物質輸送解析に関する研究に従事。中国西安出身。



◆**松永 航助教**:2016東工大・工・機械宇宙学科卒、2018同大学院工学研究科・修士課程修了、2019トヨタ自動車株式会社 元町工場 車体部 技術員室 技術員、2022東工大大学院機械系・博士課程修了同博士後期課程修了、2022.10.1本学機械理工学専攻助教。変位電流、静電引力などを用いた絶縁体に対するセンシング技術の開発に関する研究などに従事。東京都出身。



◆**周 航特定助教**:2013大連海事大・工・船舶工学卒、2016同大学院工学研究科・修士課程修了、2022京大大学院・工・マイクロエンジニアリング・博士後期課程修了。2023.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻特定助教。ナノ・マイクロ加工技術と機械学習を活用した生体高分子の機械特性の設計・評価、集団運動制御、および生体模倣システムの研究に従事。中国河南省出身。



## 京機会案内の不着とメールアドレス登録に関するお願い

メールアドレスの設定やスマートフォンなどの携帯端末の設定の具合により、京機会のメールが「迷惑メール」として誤認識されてしまう場合があります。また、状況により、正常に受信できる場合と、迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう場合が混在することもあるようです。

ご登録アドレスに間違いがないのに京機会からメールが届かない場合は、各メールサービスの操作方法にて京機会アドレス(jimukyoku@keikikai.jp)/メール配信アドレス(keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp)のメール受信許可設定をお試しください。受信許可リストに登録したアドレスは拒否設定の影響を受けずに受信することができます。



学年・研究室同窓会のご報告

京岬会(昭和33年卒) 同窓会

恒例の同期会を2022年10月26日(水)に沼津リバーサイドホテルにて実施した。本年は倉田君のカムバックがあり8名の参加となった。コロナウイルスは尚、健在であり、各人ワクチン接種の備えはしていた。

中村(弥)の乾杯の音頭で始まり、梅本幹事の経過報告の後懇談、次いで自由課題のショートスピーチを各人行った。活発な応答の内、又欠席者の情報も交換しながら、予定時間もオーバー気味で会を終了した。

尚、翌27日は岸本ゴルフ幹事の手配で、総会出席者全員参加のゴルフコンペを快晴の下、沼津ゴルフクラブ(駿河、愛鷹コース)で行ない梅本君の断トツの優勝の中楽しい一日を過ごした。(中村(弥)記)



● 談風会:2023年3月31日、学士会館にて「第20回談風会」を開催した。本会は昭和33年同期会(京岬会)の下部組織で会員が自由議題で20分程度の報告をする相互啓発の会である。前回は2020年1月21日で、コロナの関係で3年振りの開催となり出席者は前回より2名少ない4名であった。(中村(弥)記)

昭和42年卒 関東同期会

2023年7月14日(金)にS42卒(S38入学)関東同期会愛称「金時会」が開催されました。コロナ感染拡大の期間に2020年12月と2022年1月にオンライン同期会が開催されましたが、対面開催は3年8カ月ぶりで12人が参加しました。会場の北品川「金時」はコロナ禍を耐え抜き、女将、旦那とも元気でした。恒例の「現状報告」では、健康問題、趣味やボランティア、生き甲斐の話、ゴルフや健脚の話、墓じまいや終活の話など、積もる話に花が咲きました。(長崎記)



4040会(昭和40年卒同窓会)

2022年11月25日に神戸市三宮の北京料理レストラン「第一楼」で懇親会を開催しました。4040会は過去十数年間、毎年懇親会を開いていましたが、2020年初めからのコロナ禍の為に開けなくなった為、2021年6月にオンラインでの会合を実施し、本会会員で医師の東洋一郎氏のコロナウイルスについての講演を聴き、パソコン画面上で近況を報告し合いました。今回の懇親会は、2019年5月以来3年半ぶりの集まりです。21名が参加し、コロナ感染対策を取りながら北京料理とビールなどを楽しみ、久しぶりに旧交を温めました。ほとんどの会員が80歳を迎え、さすがに頭髪など年齢は隠せませんが、それでも近況報告は生気に溢れていました。皆さん、多彩ですこぶる意気軒高でした。

最後は恒例の「琵琶湖周航の歌」を全員で斉唱し宴を終え、再会を誓いました。みな年々老いてゆく訳ですが、4040会会員一同、これからも長く元気で集まりたいと思っています。(天野記)



昭和57年卒(昭和53年入学)有志新年会

日時:2023年1月3日 17:00~19:30 参加者:15名  
開催方式:Zoom(京機会本部からのライセンス貸与)によるオンライン開催

学年幹事である矢辺さんの所にメールアドレスを登録いただいている方へ、案内が 出され、都合により参加できなかった方もおられましたが、リモートの特性を活かして(関西だけでなく)関東(東京・神奈川)、中部、中国(山口)の自宅等から参加された方もおられました。

コロナ前は毎年1月3日に大阪駅で関西在住者や帰省で来阪された方を中心に 10余名で集まる恒例行事で、来年は是非リアル集合に戻って旧交を温められればと思っています。(古屋記)



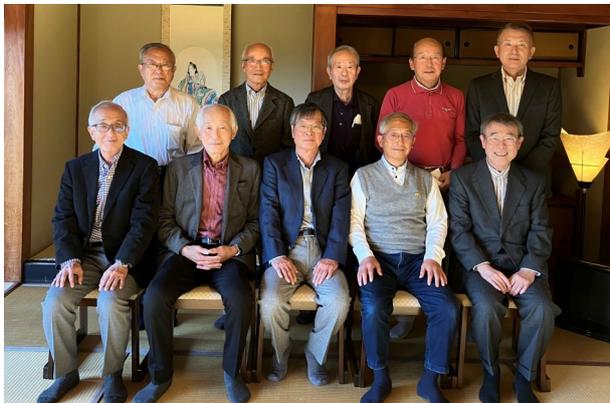
## 昭和46年卒(昭和42年入学)同窓会

◆第6回 日時:2022年11月18日(水)

場所:京都市左京区 吉田山荘 出席者:10名

3年前の第5回同窓会后、コロナの流行が有り、開催が延び延びになっていましたが、第7波と第8波の端境期を捉えて、第6回の同窓会を開催しました。会場は第3回同窓会と同じ吉田山の東山麓にある吉田山荘です。いまだコロナが猛威を振っている中、コロナ感染防止を最優先に考えている人と実際にコロナに感染し自宅療養中の人以外のメンバーのうち都合が合った10名が参加しました。卒業後51年で、近況報告には、子供と孫の話、持病の話などがありました。懇親会後は、紅葉の名所である吉田山荘近くの真如堂、哲学の道、学生時代に通った喫茶店進々堂などを訪問したメンバーもいました。

今回の開催は再来年を予定しており、皆体に気を付けてまた集まろうと誓いました。(清水記)



◆第7回 日時:2023年6月4日(日)

場所:四五六菜館 新館(横浜) 出席者:11名

今回、在バンコクの荒井さんが、一時帰国されるのに合わせて関東地区でも同窓会を開催しました。

第7回会場は横浜中華街の四五六菜館(新館)です。関東在住の林さんと橋本さんには初めて参加いただきました。前々日の台風2号による大雨のため、千葉の宇都宮さんはやむを得ず欠席になりました。当日の朝に京都から移動の増田さんと新大阪から移動の清水は新幹線が動いたため出席できました。出席した皆さんから近況報告では年相応の話題がでました。また、現役時代の会社間の仕事の際には、京大機械の同窓生ということで、初めて訪問した会社でも便宜を図ってもらえるなど、京機会の人脈を有効利用させてもらっているなどの話がありました。今回参加できなかったT-10の皆さん、次回は是非御参加下さい。(清水記)



## 昭和47年卒(昭和43年入学)同窓会 卒業50周年記念同窓会

2022年10月17日に卒業50周年記念同窓会を、京大時計台記念館「La Tour」で行いました。東は日立市から結城さん、西は筑紫野市から石田さんの出席を得て、総勢36名の会でした。5月にZoomでの小規模同窓会を開いてくれた岡本さんが、八面六臂の活躍で総てを取り仕切ってくれ、コロナ対策を打った下、楽しい50周年の会となりました。岡本さんが準備してくれた当日配付資料には、よくぞ保管していたと思われる1968年3月の機械系学科合格者発表掲示板の写真に始まり、京都大学新聞の合格者名簿や、1969年1月の時計台を遠望する学部正門封鎖風景の写真等が続きました。また、当日欠席の同級生からの近況報告や米国在住の絹田さんがアルパトスを達成したという現地新聞記事、奥島さんが出版した「日本一小さな航空会社の大きな奇跡の物語」の紹介、牧野さん提供の京大機械系の歴史に関する資料もある盛り沢山な内容でした。1分間スピーチでは、タイムキーパーの池田さんが“チン！”を鳴らすことも多く、参加者全員が想いの丈を語り合った一時でした。(秋山記)



## 昭和53年卒同窓会

さわやかな秋晴れの中、コロナ禍で中断していた学年同窓会を3年ぶりに、2022年11月19日(土)百万編の「くれしま」で開催し16名が集まりました。

昭和49年に入学し共に教養部時代を過ごしてから法学部に転部・就職し、メガバンクの副頭取になった平松君ほか、初めて参加され45年ぶりに再会できた方もおられました。コロナ禍の間に65歳前後となり退職した人、新たな仕事について人それぞれ人生の変化点を経た近況を報告しあい、あっという間に楽しいひと時が過ぎました。最後に皆で野村君の音頭で琵琶湖周航の歌を合唱し、またの再会を誓いました。(上原記)



## 昭和58年卒同窓会

2022年10月29日に京都タワーホテルにて、昭和58年卒業(54入or60修)の同窓会を開催しました。この会はオリンピックの年に開催していますが、さすがに東京オリンピック年(2020+1)は開催を断念しました。今夏の感染症の広がりも懸念されましたが、北海道から本州西端までの33名が集まることができました。スターター藤野くんの号令にはじまり、全員の近況報告を聞くうちに時間が過ぎました。療養中の田中くんのZOOM参加もありました。

その後に京都駅前のビル地下のピアホールに移動して、40年前に戻って話がはずみました。集合写真を見ると、年齢不詳な人たちの集まりです。次の集まりが楽しみです。(今谷記)



### 訃報

京都大学名誉教授 嶋本 譲(しまもと ゆずる)先生は、2023年2月8日に91歳でお亡くなりになりました。

嶋本先生には、京機会第二代会長として1998年～1999年の二期に亘り、お務めいただきました。謹んでまた心からご冥福をお祈り申し上げます。

京機会関係者一同



## 榎木哲夫教授 退職記念祝賀会

2023年7月23日(土)に、ホテルオークラ京都の4階「暁雲の間」にて榎木哲夫教授 退職記念祝賀会を開催いたしました。

榎木教授の記念講演の後、祝賀会が行われました。榎木教授が、歩いてこられた岩井(壮)研、片井研と榎木研の卒業生とご家族、総勢103名の参加となり楽しく懇談し、盛会のうちに終えることができました。

既にご存知の方もおられるかもしれませんが、この春より榎木教授は京都大学の理事・副学長(研究公正・研究倫理・研究規範担当)として新たな職責に就かれました。

今後、不定期とはなりますが、「榎木教授を囲む会」を計画しておりますので、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。(金田記)



- 京機会ニュースでの各種同窓会報告は、年1回であるため、昨今は「京機短信」(毎月5日発行)にて、随時ご紹介しています。短信では字数も写真の枚数制限もありません。詳しい同窓会報告の掲載を希望される場合は、短信用の原稿も併せてお送りください。

<https://keikikai.jp/publications/tanshin/>  
短信連絡メールアドレス: [tanshingenko@keikikai.jp](mailto:tanshingenko@keikikai.jp)

### 京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただきます場合があります。なお、今後の検討により、次号から写真とキャプションのみの掲載となる場合もあります。その節はご容赦ください。また、お送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承ください。

次号(No.46)締切は2024年7月末日です。

担当:横川 隆司、嶋田 隆広、段 智子

## 会員親睦のための「Zoom」付与サービスのご紹介



京機会では、2021年11月より、Zoomのビジネスライセンス(時間無制限)を学年同窓会や研究室等の会員の親睦にお役立ていただけるよう無償で提供しております。

ご利用希望の場合は、京機会事務局までご連絡ください。

- 京機会のZoomライセンスをご利用いただける場面:(ご注意)同窓会活動の趣旨にそぐわない目的での利用はお断りします。

- ① 学年同窓会
- ② 研究室同窓会
- ③ その他、京機会員相互の懇親会(個人が主催するものを含む)や京機会員が参加するイベント